

(3) その他子育て支援施設

ア これまでの取組み

子どもの成長に伴う様々な悩みや問題に対する相談や子育てに関する学習の場の提供など、子育てに関する総合的な事業を行う場として「子育て支援総合センター」を、民間施設を借り上げて設置しています。

令和8年度に開設予定の湯沢駅周辺複合施設に設置する「子育て支援拠点施設機能」に移転することにしています。

施設No.	施設名称	所在地	地区	所管課
子1	子育て支援総合センター	柳町二丁目1番39号	湯沢	子ども未来課

イ 現状と課題

施設No.	施設名称	建築年	法定耐用年数	経過年数	延床面積(m ²)	運営形態	職員数	支出(千円)	収入(千円)	利用人数
子1	子育て支援総合センター	S62	47	35	—	直営管理	正3, 会3	34, 251	12, 204	4, 400

子1 子育て支援総合センター

昭和62年に民間事業者が新耐震基準で建設(鉄筋コンクリート造2階建て、延床面積563.28m²。建築から35年経過)した建物の一部(427.75m²)を、平成27年から市が無償で借り受けて開設しています。

開館日・開館時間は、年末年始と祝日を除く毎日、8時30分から17時、管理運営は市直営で行い、人件費を含む管理運営費は34,251千円で、国・県からの運営費補助金12,204千円の収入があります。

施設は、つどいの広場(育児ルーム)、和室等で構成し、子育て相談やすすく歯科相談、絵本の読み聞かせや育児サークル支援など親子活動と子育てに関する学習の場を提供しているほか、ファミリー・サポート・センター事業での子どもの預かり場所として使用されており、年間約4,400人が利用しています。

ウ 今後の方針とスケジュール

総合管理計画の今後の方向性に基づき、「施設の安全性」、「施設の必要性」、「施設の有効性」、「管理運営の効率性」の視点から検証し、分析・評価を行いました。また、分析・評価を踏まえて、施設の対応方針を定めました。これらの内容は次のとおりです。

【基本的な考え方】

- 子育てに関する総合的な事業を行う「子育て支援総合センター」の機能は、親子交流活動や育児サークルの支援、相談、情報提供などを行う子育て支援センター事業のほか、ファミリー・サポート・センター事業、一時預かり事業などを実施する湯沢駅周辺複合施設内「子育て支援拠点」に移転し、継続します。

【個別施設ごとの対応方針】

子1 子育て支援総合センター

- 育児相談、育児情報の提供や親子の交流活動等の総合的な相談窓口を、湯沢駅周辺複合施設に機能移転し、継続します。
- 移転後の管理運営は、市役所内に設置する子ども家庭センターと連携しつつ、指定管理者制度

で行います。

【年度別スケジュール】

項目	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 ~ 2030年度 (R10) (R12)
子育て支援総合センター	移転準備		移転・複合化	湯沢駅周辺複合施設で業務実施	

エ 概算事業費と効果額

単位：千円

施設 No.	施設名称	今後の方向性		更新費用の試算（40年間：令和2～41年度）						維持管理費			
				現状維持した場合			本計画を実施した場合			単年度の比較			
				建物	長寿命化	大規模改修	建替	合計	長寿命化等大規模改修	建替	合計	現状維持	計画実施
子1	子育て支援総合センター	(複合化)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
概算事業費（合計）				0	0	① 0	0	0	② 0	③ 0	④ 0	0	0

更新費用の試算比較 ②－①	単年度の維持管理費の比較 ④－③
0 千円	0 千円

※ 「現状維持した場合」の更新費用は民間施設を利用しているため計上しておりません。また、「本計画を実施した場合」の更新費用は、湯沢生涯学習センター（集1）に一括計上しています。